

国立大学法人 九州工業大学

第20回 歯工学連携講演会

Expanding the Nucleic Acid Chemist's Toolbox: New Fluorescent Cytidine Analogues

核酸化学者の道具箱の拡張：新しい蛍光性シチジン類縁体

Robert H. E. Hudson 教授

the University of Western Ontario, Canada

日 時：2013年4月18日(木)17:00-18:00

場 所：九州工業大学戸畑キャンパス 8-1A 講義室

環境変化に敏感に応答する蛍光性核酸類縁体は核酸化学において様々な応用がなされています。Hudson教授らは、核酸の構造的変化、塩基対形成、ハイブリダイゼーションに応答する蛍光性核酸類縁体に注目して核酸-酵素相互作用や核酸配列を調べるためのプローブへ応用しています。本講演では、ピロールがシトシンに縮環したピロロシトシン(pC)に注目した研究を紹介して頂きます。彼が、なぜpCに興味を持つようになったのか、また、これをDNA、RNA、PNA（ペプチド核酸）へどのように応用できるのかを概説して頂きます。



問い合わせ先：竹中（093-884-3322）